
遊戯王GX～トリッパーの挑戦～

タウバーン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王GX〜トリッパーの挑戦〜

【Nコード】

N3632W

【作者名】

タウバーン

【あらすじ】

遊戯王が好きなただの青年であるこの俺、葛木遊輔はある日気が付いたら遊戯王GXの世界にトリップしていた。
今、俺の挑戦が始まる。

設定（前書き）

主人公の設定です。

設定

設定

葛木遊輔

身長174・0cm

体重66・0kg

年齢15才

本作の主人公。

所謂トリッパーで遊戯王OCGの存在する世界からアニメ遊戯王Xの世界に飛ばされる。

冷静沈着な熱血漢。

デッキは開闢エクシーズデッキ、属性ヒーローデッキ、Sinデッキを基本的に使用するが気分を使うデッキを変える。

ノリが良く明るい性格。

キレると辛辣な毒舌を吐き相手を再起不能にする。

仲間想いで友情に厚い。

Sinモンスター関連のカードはOCG効果になっている。

恋愛に関しては鋭い。

パートナーの精霊はカオス・ソルジャー開闢の使者。

入学試験！V S クロノス（前書き）

本編開始です。

入学試験！VSクロノス

デュエリスト養成機関デュエルアカデミアの入試の実技試験が行われている海馬ランドブルーアイズドームは騒然としていた。

結城十代という少年が実技最高責任者であるクロノス・ド・メデイチに勝利したのだ。

そして、もう1人この会場を騒がす少年葛木遊輔のデュエルが開始されようとしていた。

クロノス「ワタクシが試験を担当するクロノス・ド・メデイチナノ
〜ネ」

（このドロップアウトボーイには悪いですが、ここは勝って名誉挽回と行きます〜ノ）

遊輔「葛木遊輔です。よろしくお願いします」

遊輔・クロノス「デュエル」

クロノス「ワタクシのターン。ワタクシは手札から二重召喚デュアルサモンを発動。そして、トロイホースを召喚します〜ノ」

デュアルサモン
二重召喚

通常魔法

このターン自分は通常召喚を2回まで行う事が出来る。

トロイホース

地属性・レベル4

ATK・1600・DEF1200

獣族・効果

地属性モンスターを生け贄召喚する場合このカードは2体分の生け贄とする事ができる。

クロノス「トロイホースを生け贄に手札から古代の機械巨人アンティーク・ギアゴレムを召喚
これでターンを終了しマス〜」

古代の機械巨人アンティーク・ギアゴレム

地属性・レベル8

ATK3000・DEF3000

機械族・効果

このカードは特殊召喚出来ない。

このカードが守備表示モンスターを攻撃した時、その守備力が攻撃力を越えていれば、その数値だけ相手ライフに戦闘ダメージを与える。

このカードが攻撃する場合、相手はダメージステップ終了時まで魔法・罠カードを発動する事ができない。

1ターン目からエースモンスターを召喚したクロノスを見て、周りからは「終わったな」とか「あの受験生可哀そうに」などの声が聞こえてくる。

遊輔「俺のターン。ドロ！。俺は手札からテラ・フォーミングを発動しデッキからSinWorldを手札に加える」

テラ・フォーミング

通常魔法

自分のデッキからフィールド魔法カード1枚を手札に加える。

遊輔「俺はフィールド魔法SinWorldを発動」

デュエルフィールドが全体がワイヤーフレームで構成されたような世界になる。

SinWorld

フィールド魔法

このカードがフィールド上に存在する限り、自分のドローフェイズ時に通常のドローを行なう代わりに発動する事ができる。

自分のデッキから「Sin」と名のついたカード3枚を選択し、相手はその中からランダムに1枚選択する。

相手が選択したカード1枚を自分の手札に加え、残りのカードをデッキに戻してシャッフルする。

遊輔「そして、俺はエクストラデッキよりサイバーエンド・ドラゴンを除外しSinサイバーエンド・ドラゴンを特殊召喚する」

遊輔のフィールドに頭部と翼に白と黒で配色された鎧の様な物が装着されたサイバーエンド・ドラゴンが現れる。

サイバーエンド・ドラゴン

光属性・レベル10

ATK4000・DEF2800

機械族・融合/効果

「サイバー・ドラゴン」+「サイバー・ドラゴン」+「サイバー・ドラゴン」

このカードの融合召喚は上記のカードでしか行えない。

このカードが守備表示モンスターを攻撃した時、その守備力を攻撃力が超えていれば、その数値だけ相手ライフに戦闘ダメージを与え

る。

Sinサイバーエンド・ドラゴン

闇属性・レベル10

ATK4000・DEF2800

機械族・効果

このカードは通常召喚出来ない。

自分のエクストラデッキから「サイバーエンド・ドラゴン」1体をゲームから除外した場合のみ、特殊召喚できる。

「Sin」と名の付いたモンスターはフィールド上に1体しか表側表示で存在出来ない。

このカードが表側表示で存在する限り、自分の他のモンスターは攻撃宣言できない。

フィールド魔法カードが表側表示で存在しない場合このカードを破壊する。

Sinサイバーエンド・ドラゴンの登場に騒然となる観客。

男子「何？サイバーエンド・ドラゴンだと？俺の他にも所有者がいたとは驚きだ。しかし、あのSinサイバーエンド・ドラゴンというモンスターは何だ？サイバー流にはあんなモンスターは存在していない」

バルコニーからデュエルを観戦していた長髪の男子が驚愕の声を上げる。

女子「え？サイバー流の後継者である亮も知らないモンスターなの？てつきりサイバー流関連のカードだと思ったのに」

亮「明日香。悪いがあんなモンスターは無い。あつたとしたら俺が師匠からその存在を教えてもらっているはずだ」

明日香と呼ばれた女子の質問に亮と呼ばれた男子が答える。

亮「あいつは一体何者なんだ？」

再びデュエルリング

クロノス「攻撃力4000デス〜ト？」

遊輔「バトル。Sinサイバーエンド・ドラゴンで古代の機械巨人を攻撃。エターナル・エボリューション・バースト」

クロノスLP4000?LP3000

遊輔「カードを2枚セットしてターンエンド」

クロノス「ワタクシのターン。ワタクシは手札から手札断殺を2枚発動。お互いのプレイヤーは手札からカードを2枚捨て、2枚をドロ。そして、手札より古代の機械工場（アンティーク・ギアファクトリー）を発動。手札の古代の機械巨人を選択し、墓地から選択したモンスターのレベルを倍にした数と同じになるように「アンティーク・ギアモンスター」と名のついたモンスターを除外し生け贄を無くします〜」

手札断殺

速効魔法

お互いのプレイヤーは手札2枚を墓地に送り、デッキからカードを2枚ドロする。

古代の機械工場
アンティーク・ギアファクトリー

通常魔法

自分の手札からレベル5以上の「アンティーク・ギア」と名のついたモンスター1体を選択する。

そのモンスターのレベルを倍にした数と合計のレベルが同じになるように自分の墓地に存在する「アンティーク・ギア」と名のついたモンスターをゲームから除外する。

このターン選択したモンスターを召喚する場合、召喚のための生け贄は必要なくなる。

クロノス、ワタクシは墓地の古代の機械巨人2体をゲームから除外し、古代の機械巨人を召喚。さらに、手札から死者蘇生を発動し、墓地の古代の機械巨竜（アンティーク・ギアガジェルドラゴン）を特殊召喚しマス〜ノ」

死者蘇生

通常魔法

自分または相手の墓地に存在するモンスター1体を選択して発動する。

選択したモンスターを自分フィールド上に特殊召喚する。

古代の機械巨竜

アンティーク・ギアガジェルドラゴン

地属性・レベル8

ATK3000・DEF2000

機械族・効果

このカードが攻撃する場合、相手はダメージステップ終了時まで魔法・罫カードを発動する事ができない。

以下のモンスターを生け贄に捧げて召喚した場合、以下の効果を得る。

グリーン・ガジェット：このカードが守備表示モンスターを攻撃した時、その守備力を攻撃力が超えていれば、その数値だけ相手ライフに戦闘ダメージを与える。

レッド・ガジェット：このカードが相手ライフに戦闘ダメージを与えた時、相手ライフに400ポイントダメージを与える。

イエロー・ガジェット：このカードが戦闘によって相手モンスターを破壊した場合、相手ライフに600ポイントダメージを与える。

クロノス「ワタクシはカードを1枚セットしてターンエンドです」

遊輔「俺のターン。ドロー。俺はSinWorldの効果を発動。ドローフェイズをスキップする代わりにデッキからSinモンスターを3枚選び相手に1枚を選択させ、残りのカードをデッキに戻してシャッフルする」

クロノス「真ん中のカードを選択するの〜ネ」

遊輔「バトル。Sinサイバーエンド・ドラゴンで古代の機械巨竜を攻撃。エターナル・エボリューション・バースト」

クロノス「この瞬間、トラップ発動。聖なるバリア・ミラーフォースを発動。Sinサイバーエンド・ドラゴンを破壊」

聖なるバリア ミラーフォース

通常罠

相手モンスターの攻撃宣言時に発動する事ができる。

相手フィールド上に存在する攻撃表示モンスターをすべて破壊する。

遊輔「だがこの瞬間、墓地のSinトウルース・ドラゴンの効果発動。「Sin」と名のついたモンスターが戦闘または効果で破壊された時、手札または墓地からライフを半分払って特殊召喚する」

遊輔LP4000?LP2000

Sinトウルース・ドラゴン

闇属性・レベル12

ATK5000・DEF5000

ドラゴン族・効果

このカードは通常召喚出来ない。

自分フィールド上に表側表示で存在する「Sin」と名のつくモンスターが戦闘またはカードの効果によって破壊された場合ライフポイントを半分払う事でのみこのカードを手札または墓地から特殊召喚する事ができる。

「Sin」と名のついたモンスターはフィールド上に1体しか表側表示で存在出来ない。

フィールド魔法が表側表示で存在しない場合、このカードを破壊する。

このカードが戦闘によって相手モンスターを破壊した場合、相手フィールド上に表側表示で存在するモンスターを全て破壊する。

遊輔「バトル続行。Sintウルース・ドラゴンで古代の機械巨竜を攻撃」

クロノスLP3000?LP1000

遊輔「そして、Sintウルース・ドラゴンの効果発動。このカードが戦闘で相手モンスターを破壊した時、相手フィールド上に存在するモンスターを全て破壊する」

クロノス「それでモ、このターンでワタクシを倒すことハ不可能なのネ」

遊輔「何を勘違いしてるんだ？俺のバトルフェイズはまだ終了してないぜ。俺はトラップカードリビングゲットの呼び声を発動。墓地の真紅眼の黒竜を蘇生召喚」

真紅眼の黒竜 レッドアイズ・ブラックドラゴン

闇属性・レベル7

ATK2400・DEF2000

ドラゴン族

真紅の眼を持つ黒竜。

怒りの黒き炎は眼に映る者全てを焼き尽くす。

遊輔「こいつでトドメだ。真紅眼の黒竜でダイレクトアタック。黒炎弾」

クロノス「マンマミア」

クロノスLP1000?LP0

遊輔「ありがとうございます」

会場を後にした遊輔。

後日、合格通知が届きデュエルアカデミアでの生活がスタートするのだった。

END

入学試験！VSクロノス（後書き）

本日の最強カード。

遊「今日の最強カードはS i n t ウルース・ドラゴンだ」

タ「こいつは自分フィールド上のS i n モンスターが破壊された時に手札か墓地からライフを半分支払い特殊召喚できるぞ」

遊「攻撃力、守備力ともに5000という驚異の数値な上に戦闘で相手モンスターを破壊すると相手フィールド上のモンスターを全て破壊する恐ろしい効果を持っているんだ。勿論、作者であるタウバーン氏も愛用しているぞ」

タ「俺のデッキの切り札だな。まあ、1枚しか入っていないけどな」
タ・遊「」というわけで以上今回の最強カード紹介のコーナーでした」

次回は万丈目軍団戦。

V S 取巻き！絶対零度の英雄（前書き）

万丈目軍団戦です。

V S 取巻き！絶対零度の英雄

デュエルアカデミアに合格した遊輔はオシリスレッド寮の自室に荷物を置き十代や翔とともに校内にあるデュエル場に来た所、ブルー生にからまれていた。

ブルー生徒1「貴様らオシリスレッドの分際でこの神聖なるオベリスクブルーのデュエルフィールドに居座るんじゃない」

ブルー生徒2「お前たちみたいなクズがこの学園に居ること自体が目障り何だ。だいたいお前らがカードを触ることこそが全デュエリストに対する冒涇だ」

十代「何だと？弱いかどうかはやってみなくちゃわかんねえだろうが」

ブルー生徒1「はっ。お前らオシリスレッドはドロップアウトや雑魚、クズの集まり何だよ。つまりそこに配属されたって事はどうしようもないゴミだってこった。そんなヤツとデュエルするだけ無駄なんだよ」

遊輔「ふん。中等部からエスカレーターで上がって来ただけの大したことない腕前で随分な物言いだな」

ブルー生徒1「何だと？」

遊輔「お前らがどんだけ強いのか知らんがそんな人を舐めきつていようでは十代には勝てんよ。ま、他人を見下して悦に浸ってるだけのバカには俺の言っていることを理解するだけの脳みそは持ち合わせていないだろうがな」

ブルー生徒2「もう我慢ならん。今この場で決着をつけてやる」

デュエルディスクを展開するブルー生徒。すると入口の方から鳥頭の少年がやってくる。

???「お前達、何をしている？」

ブルー生徒1「万丈目さん」

万丈目「ん？お前達、ひよっとしてこの2人とデュエルしようとしていたのか？」

十代「誰だ？」

ブルー生徒2「貴様、天才で未来の決闘王である万丈目さんを知らないのか？」

遊輔「万丈目準。確か、最近勢力を伸ばしてきた万丈目グループの三男坊。兄弟で財界、政界、カードゲーム界の制覇を目指している。ただ、強引なやり口と急激な勢力拡大から成り金と呼ばれているがな」

ブルー生徒1「貴様、万丈目さんをバカにする気か？やはり、この場で叩き潰してやる」

万丈目「待て。お前らでは話にならない。手を抜かれていたのとインチキカードを使ったとはいえクロノス教諭に勝った連中だぞ」

十代「実力さ」

遊輔「他人の力量を素直に認められないのは愚か者の証拠だぞ。万丈目」

万丈目「万丈目さんと呼べ。そこまで言われては海より広い心を持つこの俺もさすがに限界だ。いいだろう。相手になつてやる」

万丈目はデュエルディスクを展開させる。

???「あなた達、何をしてるの？もうすぐ歓迎会が始まるわよ」

遊輔達が声のした方へ目を向けると女子が3人やつてきた。

万丈目「やあ。天上院君。それに枕田君に浜口君も。今、この新入り達にここでの礼儀を教えているんだが君たちもどうだい？」

明日香「結構よ。自分より弱い立場の人間をいじめて喜ぶ程人間落ちぶれていないわ」

ジュンコ「明日香さんの言う通りよ。あなた達恥ずかしくないわけ？」

ももえ「そうですね。素敵な殿方がとる行動とは思えませんわ」

万丈目「く、行くぞお前ら」

ブルー生徒「は、はい」

女子3人に言いくるめられて引き下がる万丈目達。

遊輔「いやあ。助かったよ。天上院さんに枕田さん、浜口さんだっけ？」

明日香「明日香でいいわ。あまりあの子達に関わらない方がいいわよ」

ジュンコ「アタシもジュンコで良いわよ」

ももえ「わたくしの事は是非、ももえと呼んでくださいませ」

遊輔「ああ。わかったよ。それじゃあ、寮に戻る。忠告ありがとうな」

デュエル場を後にする遊輔達。

寮での歓迎会が終わって部屋でくつろいでいるとPDAにメールが入る。

差出人は万丈目で内容を確認すると……

『やあ。ドロップアウトボーイ。我々とデュエルだ。場所は昼間のデュエル場。時間は11:00。なお、このデュエルは互いのベストカードを賭けたアンティルールだ』

というメールだった。

十代にも同じ内容のメールが入ったらしく、翔とともにデュエル場へと足を運ぶ。

遊輔「来たぞ。万丈目。出てきたらどうだ？」

万丈目「万丈目さんだ。逃げずに来たことは褒めてやる」

遊輔「で？俺は誰と戦えばいいんだ？」

万丈目「俺と言いたいところだが、生憎俺は110番の相手をしてやらねばならん。そこでお前にはこの伏見と戦ってもらおう」

遊輔「いいだろう。時間がない。とつとと始めるぞ」

伏見「ふん。ほえ面かくなよ」

遊輔・伏見「デュエル」

遊輔LP4000VS伏見LP4000

伏見「俺の先攻。ドロー。俺は手札から二重召喚を発動。俺はこのターン通常召喚を2度行える」

デュアルサモン

二重召喚

通常魔法

このターン自分は通常召喚を2回まで行う事ができる。

伏見「俺はプロミネンス・ドラゴンを2体を守備表示で召喚」

プロミネンス・ドラゴン

炎属性・レベル4

ATK1500・DEF1000

炎族・効果

自分フィールド上にこのカード以外の炎族モンスターが存在する場合、このカードを攻撃する事は出来ない。

自分のターンのエンドフェイズ時、このカードは相手ライフに50ポイントダメージを与える。

伏見「俺は、このままターンエンド。そして、プロミネンス・ドラゴンの効果で500ポイントのダメージを与える。俺の場にプロミネンス・ドラゴンは2体。よって、1000ポイントのダメージだ」

遊輔「ぐっつ」

遊輔LP4000?LP3000

遊輔「俺のターン。ドロー」

???「あなた達、何やってるの?」

遊輔がカードをドローした瞬間、デュエル場に声が響く。

声のした方に目を向けると明日香、ジュンコ、ももえのオベリスクブルー3人娘が立っていた。

遊輔「明日香か?それにジュンコとももえも?どうしたんだ?」

明日香「万丈目君達が話していたのを聞いてもしかしたらと思っていただけ、本当にこんなことするなんて」

ジュンコ「聞けばアンティールだって言うじゃない。アンティールは校則で禁止されているはずよ」

遊輔「そうなのか?」

ももえ「生徒手帳でもあるPDAの校則欄にかいてますわよ。それに、時間外の施設使用ですから見つければ退学かも知れませんか」

遊輔「ならば、ガードマンが来る前に終わらせればいいだけの事だ。デュエルを再開するぞ」

ジュンコ「ちよっと、人の話聞いてたの？今すぐやめないと・・・」

明日香「ああなつては止めるのは無理よっぽど切迫した状況じゃないとね。いい機会だから彼らの実力を見せてもらおうじゃない」

オベリスクブルー3人娘は翔の隣に移動する。

遊輔「俺はE・HEROエアーマンエレメンタルヒーローを召喚」

E・HEROエアーマン

風属性・レベル4

ATK1800・DEF300

戦士族・効果

このカードが召喚・反転召喚・特殊召喚に成功した時、次の効果から1つを選択して発動する事ができる。

自分フィールド上に存在するこのカード以外の「HERO」と名のついたモンスターの数まで、フィールド上に存在する魔法または罫カードを破壊する事ができる。

自分のデッキから「HERO」と名のついたモンスター1体を手札に加える。

翔「ヒーローデッキ？遊輔君もアニキみたいにヒーローを使うんスか？」

遊輔「ああ。こいつ等は俺が複数所有するデッキの中でもお気に入りの1つでね。ただ、十代のとはデッキの構成がガラツと違うがな。俺はエアーマンの効果を使用し、デッキからE・HEROフォレストマンを手札に加える」

E・HEROフォレストマン

地属性・レベル4

ATK1000・DEF2000

戦士族・効果

1ターンに1度、自分のスタンバイフェイズ時に発動する事ができる。

自分のデッキまたは墓地に存在する「融合」魔法カード1枚を手札に加える。

遊輔「俺は手札融合を発動。フィールドのエアーマンと手札の沼地の魔神王を融合しE・HEROアブソルトZeroを融合召喚」

沼地の魔神王

水属性・レベル3

ATK500・DEF1100

水族・効果

このカードを融合素材モンスター1体の代わりにする事ができる。その際、他の融合素材モンスターは正規のものでなければならぬ。また、このカードを墓地へ捨てる事でデッキから「融合」魔法カード1枚を手札に加える。

融合

通常魔法

手札・自分フィールド上から、融合モンスターによって決められた融合素材モンスターを墓地へ送り、その融合モンスター1体をエクストラデッキから特殊召喚する。

E・HEROアブソルトZero

水属性・レベル8

ATK2500・DEF2000

戦士族・融合/効果

「HERO」と名のついたモンスター+水属性モンスター

このカードは融合召喚でしか特殊召喚できない。

このカードの攻撃力は、フィールド上に表側表示で存在する「E・HEROアブソルートZero」以外の水属性モンスターの数×500ポイントアップする。

このカードがフィールド上から離れた時、相手フィールド上に存在するモンスター全てを破壊する。

遊輔「更に、もう1枚融合を発動。手札のフォレストマンとオーシヤンを融合し、E・HEROジ・アースを融合召喚」

E・HEROオーシヤン

水属性・レベル4

ATK1500・DEF1200

戦士族・効果

1ターンに1度、自分のスタンバイフェイズ時に発動する事ができる。

自分フィールド上または自分の墓地に存在する「HERO」と名のついたモンスター1体を選択し、持ち主の手札に戻す。

E・HEROジ・アース

地属性・レベル8

ATK2500・DEF2000

戦士族・融合/効果

「E・HEROオーシヤン」+「E・HEROフォレストマン」

このカードは融合召喚でしか特殊召喚出来ない。

自分フィールド上に表側表示で存在する「E・HERO」と名のついたモンスター1体をリリースする事で、このカードの攻撃力はこのターンのエンドフェイズ時まで、リリースしたモンスターの攻撃

力分アップする。

伏見「それはまさか……。お前の様なドロップアウトボーイが何故プラネットシリーズを持っている？」

明日香「プラネットシリーズ……。初めて見たわ」

ももえ「プラ……。何ですか？」

ジュンコ「プラネットシリーズっていうのは、デュエルモンスターの生みの親であるペガサス会長が太陽系の惑星をモチーフに作ったカードシリーズの事よ」

明日香「そう。全世界で10セットが各大陸の大会の優勝・準優勝者に送られたの。あのジ・アースはその中の1枚よ」

遊輔「さて、デュエル再開だ。俺はジ・アースの効果を発動。俺の場のE・HEROを生け贄に捧げる事でそのモンスターの攻撃力分だけジ・アースの攻撃力を上昇させる。俺はアブソルトZeroを生け贄に捧げジ・アースの攻撃力を2500ポイントアップする」

E・HEROジ・アースATK2500? ATK5000

伏見「攻撃力5000だと？」

遊輔「そして、アブソルトZeroがフィールドから離れたため、こいつの効果が発動する。アブソルトZeroがフィールドから離れた時、相手フィールド上のモンスター全てを破壊する」

伏見「何い？禁止カードサンダーボルトと同じ効果だと？」

遊輔「こいつでトドメだ。ジ・アースでプレイヤーへダイレクトアタック。アースマグナ・スラッシュ」

伏見「ぐわあああああああ」

伏見LP4000? LP0

遊輔「俺の勝ちだな。アンティはいらん」

自分のデュエルを終えた遊輔。

その後、万丈目とのデュエルが中断しごねる十代を引っ張り寮まで戻った。

そして、しぶしぶ寮に戻った十代はE・HERO系の融合モンスターは融合でしか特殊召喚出来ない事を知ったのであった。

END

V S 取巻き！絶対零度の英雄（後書き）

本日の最強カード

遊「本日の最強カードはE・HEROアブソルトZeroだ」

タ「エレメンタルヒーロー＋水属性モンスターという非常に緩い融合素材を持つ上に場から離れると相手のモンスターを全て破壊する効果を持つぞ」

遊「ヒーローデッキには欠かせないカードだな」

タ「遊輔が使ったジ・アースやパラドックス・フュージョンといったモンスターを場から離す効果を持つカードと組み合わせるのがセオリー」

遊「沼地の魔神王と融合？デブリドラゴンを召喚し効果で魔神王を蘇生？グングニールをシンクロ召喚して攻撃力アップといった使い方もありだ」

タ「属性融合型ヒーローデッキが流行るきっかけとなった記念すべきカードだ。むろん作者も持っているぞ」

遊「しかも3枚ガン積みでな」

遊・タ「以上。本日の最強カードのコーナーでした」

次回はヒロイン戦です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3632w/>

遊戯王GX～トリッパーの挑戦～

2011年11月28日02時53分発行